

祇園小学校 校長だより（第2号）

平成30年4月16日

「清心」

文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

校区内を歩いてみて

朝の登校指導で通学路を回っていると、横断歩道のある所はもとより、横断歩道のない所も合わせて、左折車や右折車に注意をする場所が多いことに驚いています。子どもたちは日頃、地域や保護者の方へ守られているからか、左右の安全確認を自ら行うことが足りないように思います。常に大人に守られているわけではありませんので、子ども自らが安全確認をするよう育てていきたいものです。

また、入学式へご出席いただいたご来賓の方々のご自宅へお礼状をお届けしながら、私自身地域を覚えようとしています。町内それぞれに特徴があり、町ごとに自治組織ができた当時へ思いをはせながら歩きました。細い道や階段がある地域も多く、住宅建設や買い物などの大変さを感じました。私が育った中通町も俵町から登り上がった所にありましたので、当時の苦勞を思い出しながら歩きました。

松川町の「松川町3之組公民館」の近くでは、平戸往還「高天←松川→峰の坂」の表示を見つけました。歩いているうちに、祇園地区への愛着が高まっている自分が嬉しくなってきました。これからも校区内を積極的に歩いてまいります。

めざす児童像

本校のめざす児童像は、「明るい子（徳）、考える子（知）、元気な子（体）」です。学校教育目標にも掲げている「知・徳・体の調和のとれた児童の育成」を子どもたちにわかりやすく表現したものです。併せて、折にふれ「祇園の子（学校愛・地域愛）」とも呼びかけ、学校教育目標の「学校と地域を愛し」を具体化させていきたいと考えています。

お詫びと訂正

第1号の「校歌」において、作詞 河野 左千子、作詞 七田 英明 と記載していました。正しくは、作曲 七田 英明 です。お詫びして訂正いたします。

祇園歴史の旅（その2）「祇園小学校の児童数」

祇園小学校が誕生した当時の平成13年5月1日現在の全校児童数は343名でしたが、その後、少しずつ増加し、平成30年4月6日現在の全校児童数は487名となりました。戸尾小と光園小が統合された当時は想定できなかった、市内中心部のマンション建設が増加の要因の一つであると考えます。少子化の折、児童数が増加している貴重な学校であるとの認識のもと、活気のある学校づくりに努めてまいります。